

地 域 再 生 計 画

1 . 地域再生計画の名称

岩美町「国立公園浦富海岸保全計画」

2 . 地域再生計画の作成主体の名称

鳥取県岩美郡岩美町

3 . 地域再生計画の区域

鳥取県岩美郡岩美町の全域

4 . 地域再生計画の目標

岩美町は、鳥取県の最東北端に位置し、東は兵庫県に、北は日本海に面し、総面積は122.38km²、人口13,867人（平成17年3月31日現在）である。町を流れる河川は陸上川、吉田川、蒲生川水系に分かれそれぞれ北流し日本海に注いでいる。その海岸部は「日本の渚100選」や「日本の水浴場88選」に選定された山陰海岸国立公園浦富海岸を中心に海水浴場、国定公園河合谷高原や岩井温泉など、豊富な観光資源を有しており、毎年多数の観光客を集め観光拠点としての機能を果たしてきた。

しかし、近年では以前に比べ海水浴客等、観光客の減少や過疎化が進み以前のような活気が失われつつある。

また、経済発展と生活様式の変化により河川の水質汚濁や自然環境が悪化し、浦富海岸をはじめとする観光資源への影響が懸念される状況にある。

町では、年々悪化している河川の水質を改善し、環境に配慮した景観形成に取り組んでおり、生活排水を処理するために一部の農村、漁村地域で集落排水事業を、公共下水道事業として大谷処理区及び平成10年度からは町の中心部において浦富処理区の整備を、また、その他の地域においては浄化槽の個人設置型事業を行っているが、平成16年度末の汚水処理人口普及率は75%で全国平均（79.4%）より低い状況となっている。

このため、本事業の交付金を活用し公共下水道の整備及び山間地域における浄化槽整備（個人設置型）を促進し、浦富処理区の放流先である吉田川の水質を維持し浦富海岸への影響を最小限に止めることで海岸の

保全を行っていく。

環境保全を促進することで、従前より行っている浦富海岸を活用したシュノーケルやイカ釣り体験、浦富海岸健康マラソン大会といったイベント等を継続していき、町外の方に岩美町をPRしていくことで観光客の誘致をより一層図っていく。地域住民に対しても美しい自然環境を再認識してもらうことで、環境保全意識の高揚を促していく。

これによって、地域住民による海岸清掃活動や終末処理場付近のコスモスロード整備など、環境美化に関するボランティア活動がより促進される。こうした意識の醸成を図ることで、恵み豊かな自然と共生し安らぎのある循環社会の更なる展開が期待される。同時に多彩な魅力を備えた観光圏の形成に取り組み、自然との調和のとれた美しい景観、恵まれた自然環境を守ることで、浦富海岸をはじめとする観光拠点地域を保全し都市部との交流を拡大することにより減少傾向にある観光人口の増加を図り観光の町としての再生を目指す。

(目標1) 污水处理施設の整備促進(污水处理人口普及率を75%から85%に向上)

(目標2) 吉田川の水質保全(吉田川の水質 BOD1.55mg/Lを維持)

(目標3) 観光入れ込み客数の増加(平成16年度末 441,000人から平成22年度末 485,000人)

5. 目標を達成するために行う事業

5-1 全体の概要

污水处理人口普及率を高めるため公共下水道及び浄化槽整備を進め、生活排水による環境汚染を防ぎ、岩美町の観光において中核をなす浦富海岸周辺の自然環境を保全する。これによって、浦富海岸を活用した様々なイベント等を通じ、地域住民には環境保全意識の啓発及びボランティア団体の発足を図る。また、町外者には岩美町のPRを行い観光客の増加を目指す。

5-2 法第4章の特別の措置を適用して行う事業

(1) 污水处理施設整備交付金を活用する事業

対象となる事業は、以下のとおり事業開始に係る手続き等を了している。なお、整備箇所等については、別添の整備箇所を示した図面による。

・公共下水道・・・・・・・・平成17年3月に認定済み

【事業主体】

- ・岩美町

【施設の種類】

- ・公共下水道、浄化槽

【事業区域】

- ・公共下水道 岩美町岩井、宇治
- ・浄化槽 公共下水道、集落排水処理区域外の岩美町全域

【事業期間】

- ・公共下水道 平成18年度～平成20年度
- ・浄化槽 平成18年度～平成22年度

【整備量】

- ・公共下水道 100～250 L = 15,000m
- ・浄化槽 100基

なお、各施設による新規の処理人口は下記のとおり

公共下水道 940人、浄化槽 313人

【事業費】

- ・公共下水道 924,000千円
(うち交付金 462,000千円)
- ・浄化槽(個人設置型) 42,261千円
(うち交付金 14,087千円)
- ・合計 966,261千円
(うち交付金 476,087千円)

5 - 3 その他の事業

(1) 浦富海岸での自然とのふれあい体験

「シュノーケル」や「イカ釣り」体験、砂浜でのビーチバレー大会や花火大会など自然とのふれあいを通じて観光地としてのPRを図る。

また、「磯の観察会」など子供たちに自然とふれあう機会をつくることで次世代に豊かな自然と環境保全の大切さを教育する。

(2) 浦富海岸健康マラソン大会

マラソンコースとして浦富海岸を走ることにより、参加者に自然のすばらしさを再発見してもらう。また、参加者には、岩井温泉入浴券・海産物を参加賞として配布し、特産品の販売等を行い岩美町の魅力を知っ

てもらうことで、町外から参加者の安定的な確保と拡大を図り観光促進につなげる。

(3) 環境保全団体の発足

町との連携のもと自治会、婦人会等関係団体に協力を得て関係住民によるクリーン作戦の展開や漂流物の撤去等自分たちの住むまちを自分たちで守るという認識のもとに環境保全団体の発足を目指す。

6 . 計画期間

平成18年度～22年度

7 . 目標の達成状況に係る評価に関する事項

計画終了後に、4に示す数値目標等について関係行政機関により達成状況の評価、改善すべき事項の検討等を行うこととする。また、計画の達成状況については、町のホームページにおいて公表する。

8 . 地域再生計画の実施に関し当該地方公共団体が必要と認める事項

該当なし